

こどもひろば

2024.10 (第349号)

よんでみて！あたらしくはいった本

『かぜのこうさぎのピュピュン』

ぬまのう まき / 作 アリス館 (J/N351)

■かぜのこうさぎのピュピュンはここちよいかぜがふくところにすんでいます。

そよりん そよりんとかぜがはこんできたのはおてがみ。おともだちのピョピョンからのおてがみでした。



幼児 ★★



『ビーチサンダル号海へ!』

L.R. ロッディング / 文, D. パバリー / 文, M.M. ムワンギ / 絵, ちば しげき やく 千葉 茂樹 / 訳 あすなろ書房 (J/M743)

■ジュマは、アフリカのラム島にすんでいる少年です。

ある日、ジュマは海岸でたくさんのプラスチックごみを見つけます。すてられたビーチサンダルがぶかぶかうかんでいるのを見て、ジュマは「ちっちゃな船みたいだ」といいました。

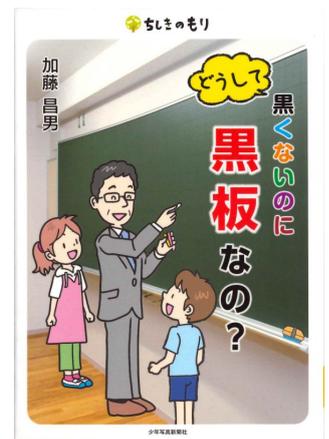
小学生 ★★

『どうして黒くないのに黒板なの?』

かとう まさお 加藤 昌男 / 著 少年写真新聞社 (370/K24)

■みなさんの教室の黒板は、何色ですか。緑色をしていると答えた人が多いでしょう。

黒板は、緑色だけでなく灰色や青色、茶色なんかもあります。いろいろな色があるのに、どうして黒板は「黒板」とよばれているのでしょうか。



小学生 ★★★

★がおおいほど本のないようがむずかしくなるよ。

おはなし会のよてい

10月のおはなし会

こうさぎおはなし会

1日(火) 11:00~11:30
 わらべうた、えほんのよみきかせなどを
 します。赤ちゃんから5才くらいまでの
ほごしゃ
 子どもと保護者のためのおはなし会です。
しゅつえん つむ
 出演：おはなし紡ぎの会

おおばこおはなし会

12日(土) 14:00~14:30
 かみしばい、えほんのよみきかせ、おはなし、
 手あそびなどをします。
しゅつえん としよかん
 出演：図書館ボランティア「おおばこ」

さぬきおはなし会

6日(日) 14:00~14:30
 えほんのよみきかせ、おはなし、かみしばい
 などをします。
 絵本『いぬのごろたろう』
 『しゅくだい』など
しゅつえん
 出演：さぬき語りの会

えいごあそび

22日(火) 11:00~11:30
えいご てあそ
 英語絵本のよみきかせや手遊び、アクティビティ
 などをします。
しゅつえん
 出演：えいごであそぼ

秋のおはなし会

24日(木) 15:30~16:00
 えほんのよみきかせや手あそびなどを
 します。
しゅつえん としよかんしよくいん
 出演：図書館職員

いちご

9日(水) 10:30~11:00
 えほんのよみきかせ、かみしばい、
 手あそびなどをします。
しゅつえん
 出演：いちご

わくわくかみしばい会

26日(土) 14:00~15:00
 いろいろなかみしばいをじょうえん
 します。
 『おいしいくだものなーにかな?』
 『ドーナツのあなのひみつ』
 『かにむかし』など
しゅつえん じゆく
 出演：まいまい塾 ネットワーキング



11月のよてい

ひづけ	じかん	おはなしかい
3(日)	14:00~14:30	さぬきおはなし会
9(土)	14:00~14:30	おおばこおはなし会
12(火)	11:00~11:30	えいごあそび
13(水)	10:30~11:00	いちご
16(土)	14:00~15:00	<small>つむ</small> 「おはなし紡ぎの会」によるおはなし会

としょかん

図書館にきてくれるみなさんへ

けんりつ としょかん

県立図書館のあいている日と時間

火ようび～金ようび ごぜん9時 から ごご7時 まで
土・日・しゆくじつ ごぜん9時 から ごご5時 まで



★毎しゆう月ようびが、お休みです。

★10月14日（月・スポーツの日）は ごぜん9時から ごご5時まであいています。
かわりに 10月15日（火）が おやすみです。

今月の本「ファンタジー～ふしぎな世界へようこそ!～」

10月6日（日）、直木賞作家の万城目学さんをおまねきして、県立図書館で講演会を行います。万城目さんの小説では、人間の言葉をしゃべる動物が登場したり、現実の世界では起こらないような、ふしぎなできごとが起こったりします。

今月は、万城目学さんの講演会にちなんで、ふしぎな世界やふしぎな出来事が起きるおはなしの本をしょうかいします。

●『としょかんのきょうりゆう』

鈴木 まもる／作・絵 徳間書店（J/S102/108）

●『車のいろは空のいろ 1～4』

あまん きみこ／作, 黒井 健／絵 ポプラ社（913/A1/64-1～4）

●『スチュアートの大ぼうけん』

E. B. ホワイト／著, ガース・ウイリアムズ／絵, さくまゆみこ／訳
あすなろ書房（930/W1/3）

●『魔女と暮らせば』

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／作, 田中薫子／訳, 佐竹美保／絵
徳間書店（930/J5/4）

児童資料コーナー入り口近くの本だなにしています。
ぜひ読んでみてください。



* 3ページまでは、小学3年生から習う漢字にルビ（ふりがな）をつけています。

* 「こどものひろば」は、県立図書館のホームページでも見るができます。

URL : <https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>

◆◆◆◆◆ 子どもと本を楽しむ大人の方へ ◆◆◆◆◆



～令和6年度「子どもと本をつなぐ講座」のご案内～



1つのテーマにそって順序よく本を紹介するブックトークは、子どもたちに読書の楽しさを伝え、思いがけない本と出会うきっかけづくりに有効な方法です。

本講座では、「概論」でブックトークの基本について学ぶとともに、講師の実演を聞き、ブックトークの楽しさを体験します。

「実践」では、事前課題のブックトークのシナリオを提出した受講者の中から、数名の方にブックトークを行っていただきます。

テーマ：ブックトーク～子どもと本をつなぐ～

日時：令和6年12月15日（日）（受付：10：00～）

10：30～12：00 概論（ブックトークの基本、講師によるブックトークの実演）

13：30～16：00 実践（受講者によるブックトークの実演と講師による講評）

講師：杉山きく子さん（公益財団法人東京子ども図書館理事）

会場：香川県立図書館 2階 研修室

定員：40名 先着順

募集：令和6年10月1日（火）9：00～11月10日（日）17：00

「香川県 電子申請・届出システム」（Webサイト）により申し込んでください。

※事前課題があります。詳しくは、県立図書館のホームページをご覧ください。

今月のコラム「ファンタジーよ、ふたたび」

私は子どもの頃、読書が好きでした。本を読んでいると、現実から遠く離れ、本の世界の住人になって、主人公のすぐそばで、同じ体験をしているような感覚がありました。

しかし、大人になるにつれ、そんな読み方ができなくなっていきました。何かの情報を得ようとして読む実用書や自分と似た境遇の大人が主人公の話は、それなりに読めるのですが、ファンタジーは面白さが半減してしまってあまり読んでいません。

特に、子育てで忙しかった頃は、主人公が魔法を使って敵と戦うシーンを読んでも、「魔法か。魔法でおむつ替えもしてくれないかな」とか「実在しない生物って想像しづらい。・・・そういえば、予防接種の予約をしておかないと」とか、日常の雑事が頭をよぎって、ファンタジーの世界に浸ることができませんでした。

今は落ち着いて読書する時間はあるのですが、子どもの頃のような本の世界との一体感を味わうことは、もうできないかと寂しく感じます。

子どもたちには、物語の世界へ飛び込んでいける跳躍力のある子ども時代に、たっぷりファンタジーを楽しんでほしいと思います。10月の「今月の本」のテーマは、ファンタジーです。思う存分、読んでくださいね。（T）